

Weekly Bulletin

2019-2020



RI会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーは
世界をつなぐ

静岡東ロータリークラブ

会長／新聞桂子 幹事／森下登志美

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長

新聞桂子

第 2935 回例会

令和元年 1月30日 天候 晴

《司 会》 森下 登志美 君

《合 唱》 「手に手つないで」
「静岡東ロータリー」

《BGM》 アルビニーノ「アダージョ ト短調」
パッヘルベル「カノンとジーク」他

《ゲスト》 浜松西RC 山地 峰春 様
中村 俊幸 様
中村 泰之 様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

結婚記念日

1月30日 大村 幸代 君 2月4日 早川 正久 君
2月 1日 伊藤 洋一郎君 2月5日 菊池 茂夫 君
2月 2日 長谷川 泰 君

《ソングリーダー》

中嶋 達郎 君



皆さんこんにちは。今一番話題になっているのが、中国武漢で発生している「新型コロナウイルス」が猛威を振るっている感染者が6,000人を超え1万人を超えるのは時間の問題であると言われております。私達としてできることは、手洗い、うがい、消毒とマスクで予防することが大切です。

《会長挨拶要旨》

「RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）」

（代行）相原 雄治 副会長

昨年12月21日に行われた2620地区RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）の報告をさせていただきます。

RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）とは、小グループによるファシリテーション手法によりロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するためのプログラムとあります。具体的には2620地区の各クラブより2名程度、当クラブからは私と望月会員が参加し、1セッション15名ほどに分かれ一定のテーマに各自の考えを話していく形式でした。セッション別のテーマは、1ロータリーにおけるリーダーシップ、2私のロータリー世界3倫理と職業奉仕、4私たちの財団、5会員の参加を促す、6奉仕プロジェクトを想像する、以上の6テーマでした。



2620地区の各会員がセッションごとにばらばらに振り分けられ、ほとんどが初めて会う方々と意見を交わすことは貴重な経験となりました。職業奉仕や職業分類などのロータリー用語の定義や本来の意味を改めて知ったと同時にロータリーの意味や考え方には各会員により様々な考え方があることも感じました。ロータリークラブの特徴の一つにダイバーシティ（多様性）というものが、様々な考え方を尊重していく姿勢が重要とありました。

近年の国際ロータリーは、変化や新たな創造を重視する傾向があります。それに対して国内のロータリークラブでは、1時代前の「ロータリーはこうでなければならない」的思想がまだ強過ぎるのではないかと、意見に多くの会員が賛同していたのは印象的でした。義務ではなく自然に楽しみとして集まれるロータリー活動とは何か、いろいろ考えるいい機会になったと思います。

《来賓卓話》

RI2620 地区 奉仕委員会 職業奉仕副委員長

「職業奉仕の未来」浜松西 RC 山地 峰春 様



皆さんこんにちは、浜松西ロータリークラブの山地でございます。今回、卓話のサポートをしてくれる中村俊幸君、それから同じクラブで研修リーダーをしてもらっている中村泰之君となります。既にオリンピックイヤーが始まっておりまして2620地区では静岡県

のエリア、山梨県のエリアでも自転車競技が開催されるなど、また、パラリンピックの関係で職業奉仕の盛り上がり地区によってはあると聞いております。また、2020年1月度は職業奉仕月間ということで相当数出前講座をさせていただきます。

今年度地区でガバナーがおっしゃる第一声がRIでルールが決まっていることがしっかりとある。その原点を皆さんにしっかりとご理解いただくことからお話を進めていかないとならないと考えておられるようです。今回は各クラブへの支援をする為に、地区奉仕委員会より、職業奉仕について出前講座にやってきました。本日の趣旨は、近年進む多様性のある時代への柔軟性ある変化と地域社会の発展に貢献する職業リーダーの育成をそして新会員の皆様と共に考える新しいネットワークの開拓です。ともに会員増強につながる課題かと思えます。皆さんにはロータリアンとしての理想を私と共に考えていただきたく講座をスタートいたします。

ロータリークラブが誕生し定款が生まれたのが1907年、その当時のクラブの目的が記載されています。ここには会員の親睦と相互扶助、そして市民として地域利益の促進などが挙げられています。また、3年ごとに改正されている手続要覧で昨年4月に規定審議会が開催されメーキャップ等についての改正がありました。なぜ規約の変更が必要なのか。一部の国や地域でロータリーが急速に成長している一方で会員数の減少や会員平均年齢の高齢化に直面している国や地域がある。これまで15年間ロータリーでは会員資格、職業分類、クラブ運営について革新性を取り入れた試験的プログラム実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについてクラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ成長する傾向にあるということがわかっています。今回の規定審議会の決定により全てのロータリークラブは例会や出席、クラブの構造、会員の種類について規定審議会が承認した

新しいオプションを取り入れてクラブ細則を修正することが可能になりました。但し、これらの変更を加えないことを選択するクラブは従来と同じ方法をとることができる。この手続要覧は基本的理念として「職業人が一体となり、スキルと熱意をもって地域社会に変化をもたらしてきたロータリーの100年以上の実績は・・・」とはじまり、その下に奉仕活動の指針としての歴史的価値の議決23-34があります。ここでは黒田正宏元RI理事の要約に基づいて進めてまいります。その内容は、1.クラブは

個人として奉仕活動を行ってもよく、団体として行ってもよい。2.各クラブは活動で自主独立性を保つ3.狭義の社会奉仕活動だけでなく、奉仕の説明やRIの目的も示されている。4.ロータリーの哲学と実践倫理原則を再確認している。などロータリアンが受け継いできた職業精神と奉仕の理解といった内容が記載されています。日本にロータリーが誕生してもうすぐ100年ロータリーは時代の変化に対応してきた。先人たちは”奉仕”でなく”サービス”で意味を幅広く理解されていた。

ロータリーの奉仕活動には、地域貢献活動からポリオ撲滅や、世界を巡る医療船まで、さまざまな広がりがあり皆さんが参加する事由があります。また、個人の倫理を高めるだけでなく、未来を担う青少年たちに対して職業紹介や出前授業、学生の企業受け入れ実習などをクラブが窓口となって行っています。

最後になりますが今年度以降は地区奉仕委員会として奉仕委員会が統合され、まとまって進んでゆく予定です。ロータリークラブはきっと私を含めて皆様の人生を価値あるものにする大きな選択肢を与えてくれるのだと信じております。是非、クラブの中で先輩方と語り合ってみてください。クラブの強化と新しい仲間が見えてくるかと思えます。最後になりましたが、ご無理を申し上げておりました複数クラブ合同奉仕事業へもご参加いただきガバナー、奉仕委員会委員長に変わります。御礼申し上げます。本日は職業奉仕月間ということで呼びいただきましたが、私の出前講座も明日の伊東西ロータリークラブが最終となり、良き思い出になりそうです。ご清聴ありがとうございました。

《スマイル報告》

大村 幸代 君 誕生日のお祝いありがとうございました。この年齢まで元気に過ごせていることを生んでくれた両親に感謝する日が「誕生日」だと最近ようやく気付きました。お墓参りに行かなくて・・・。

伊藤 洋一郎 君 誕生日の人は、スマイルしましょうと呼びかけられたので、スマイルします。年を重ねたことの自覚がないのでスルーしたのですが。

長谷川 泰 君 誕生日のお祝い有難うございます。2月2日生まれで今年は令和2年2020年と2が多くて良い年(に〜^^)したいです。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
1/30	48(46)	33	13	-	-	-
1/23	48(46)	38	8	-	-	-
1/16	48(46)	34	12	10	2	95.65%

(会報作成 松本 安之)